

# 前回の振り返り

～変化のプロセスに目を向けて～

## ワーク1：地域における変化と課題

### ①ポジティブな変化(気づき)

地域社会では、女性や若者の参画が進んでいることが多くの場面で確認された。また、役割分担や価値観に変化が見れた。

#### ・女性の参画の拡大

- 自治会総会や区の役員会で女性が議長や役員を務めるケースが増加
- PTA、育成会、児童会などで女性リーダーが活躍
- 女性神輿、女児の奉納相撲やだんじりへの参加など、祭り文化にも広がり

#### ・男性の家庭・地域参加の増加

- 小学校での読み聞かせに男性メンバーが増加
- 溝掃除やクリーン活動にも女性・男性ともに積極参加
- 父親・祖父による乳幼児健診や送迎が増え、家事が得意な父親も目立つように

#### ・若者・移住者の増加

- 大学の設立により地域に若者の存在感が増す
- 新たな店舗やインバウンド増加による地域活性化

#### 変化のポイント：

以前は「男性中心・高齢者中心」だった地域活動が、

徐々に多様な立場の人が参加する場に変化してきている。

## ワーク1:地域における変化と課題

### ②市の取組み・成果目標に対する改善点

- **意見収集・反映の仕組み**
  - 性別や年齢に関係なく「1人1票」で意見を反映できる制度
  - 少数意見も拾える「ブロードリスニング」導入
  - 数値目標だけでなく、具体的な事例や成果の「見える化」
- **防災・福祉への配慮**
  - 女性単身者など多様な避難者を想定した受け入れ体制
  - 育休取得やケアワークへの男女参画を評価する仕組み
- **負担軽減**
  - 自治会活動の責任を軽くし、参加ハードルを下げる
  - 会議時間の工夫(子連れOK、参加しやすい時間帯設定)

## ワーク1:地域における変化と課題

### ③女性の意思決定参画を促進するための実践策

#### 個人レベル

- 会議や地域活動に積極的に参加・声かけをする
- 「最初の一人」になる勇気を持つ
- 男性の生きづらさも共有し、お互いに理解する

#### 組織・グループレベル

- 男女比率に関する目標設定(クォータ制ではなく目標値として)
- 意見収集手法の多様化と可視化
- 子連れ参加の許可や時間帯調整
- 規約やルールを整備し、女性の参加が前提となる仕組みを作る
- 負担軽減のためのサポート体制を整える

#### 変化のプロセスの視点:

「参加しやすい環境整備」→「最初の一步を踏み出す個人」→「女性参画が当たり前の文化へ」

という流れが確認された。

## ワーク2: 家庭における変化と課題

### ① ポジティブな変化(気づき)

家庭では家事・育児・介護の分担が進みつつあるという前向きな変化が見られました。

#### ・ 家事・育児における変化

- 父親の育児参画が「当たり前」という意識に変化
- 授業参観や送迎、お弁当作りなど父親の役割が拡大
- 男性の育休取得が進み、1年間取得するケースも出現
- 子どもが「父も母も同じくらいお世話してくれる」と感じる環境に

#### ・ 家事分担の変化

- 家事分担割合が改善(夫20%→40%、妻80%→60%)
- 「やれる人がやる」という柔軟な考え方が浸透
- 家事・介護の押しつけが減少

#### ・ 会話・価値観の変化

- 家庭で「ジェンダー」という言葉が話題に
- 家事や育児に関する会話・コミュニケーションが増加
- 子どももジェンダーの視点を自然に理解し始めている

### 変化のポイント:

家庭内の意識が「役割分担の固定」から「対話と柔軟な分担」へと変わりつつある。

## ワーク2: 家庭における変化と課題

### ②市の取組み・成果目標に対する改善点

- **介護領域での男女不均衡の是正**
  - 育児では男性の参画が進んだが、介護は依然として女性負担が大きい
  - 介護を含めた包括的なジェンダー施策が必要
- **コミュニケーション支援**
  - 家庭で話し合うための「簡易版コミュニケーションシート」配布
  - 対話イベントや講座の充実(父子イベント、時間帯工夫)
- **時間確保**
  - 残業削減、週休3日制など、家庭時間を増やすための施策

## ワーク2: 家庭における変化と課題

### ③ 男性のケアワーク参画を促進するための実践策

#### 個人レベル

- 家庭内での会話や「家族会議」を定例化
- 子ども時代から役割固定意識を持たせない
- 家事・介護のスキルを男女ともに磨く

#### 組織・グループレベル

- 残業削減・実働時間削減・週休3日制の実現
- 学校教育でのジェンダー意識教育
- 夫婦が互いの状況を共有できる交流会・対話の場を作る
- 男性向け介護セミナーなどのスキルアップ機会を提供

#### 変化のプロセスの視点:

「男性が家事育児に参加する雰囲気づくり」→「具体的なスキル習得」→「対話と制度による継続支援」  
という段階が必要。

## 全体のまとめ

領域	初期段階	中間段階	定着段階
地域	会議への参加促進、声かけ、参加しやすい環境整備	女性が議長・役員など意思決定の場に参画	多様性が自然に根づき、役割に性別が関係なくなる
家庭	男性が家事・育児を行う雰囲気ができる	家事・育児を平等に分担、対話が増える	家族全員が柔軟に役割を担い合い、ジェンダーに縛られない生活

### 総合的な変化のプロセス:

1. 気づき(意識の芽生え)
2. 参加しやすい環境整備
3. 実践と成功体験の共有
4. 仕組み化・文化として定着